

中島隆博先生御著書 『危機の時代の哲学 —想像力のディスクール』書評会

この度、東京大学東アジア藝文書院院長、中島隆博先生が2021年8月に東京大学出版会から出版された『危機の時代の哲学—想像力のディスクール』につき、書評会を開催いたします。危機を煽るのでもなく、悲観するのでもなく、はたまた危機から目を反らしたり、逆に危機を利用したりするのでもなく、ヒューマニティーズという学問に携わる我々に問われているのは、「危機をどう語り、どう捉えるか」という、危機に対する、ある種の関与の在り方です。中島先生が「はじめに」に書かれた「小さな一点での批判的関与」を、私たち一人一人が、展開していくに当たり、中島先生との対話を通して、「危機という構造」にどのような風穴を開けることができるのか、書評会という「場」を設け、共に探求して参る機会にしたいと考えております。

日時：11月13日(土) 14:00-17:00

場所：ZOOM（事前登録制）

登録はこちらからお願いいたします。

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZUtde-sqTwsHtzpMWQZfDy2JjPQwNEY3o18>



スケジュール：（司会：佐藤麻貴）

14:00-14:05 開会と主旨アナウンス

14:05-15:05 登壇者10名からの書評 — 危機をどう語り、どう捉えるか
大石直樹(EAA生), 具ユジン(EAA特任助教), 崎濱紗奈(EAA特任研究員)
佐藤麻貴(EAA特任准教授), Xu Minghao(EAA生), 田村正資(EAA特任研究員), 張政遠(総合文化研究科准教授), ナヌアシュヴィリ・テクラ(京都大学、大学院修士課程), 円光門(EAA生), 王欽(総合文化研究科准教授)

15:05-15:15 休憩

15:15-17:00 総合討論 — 危機という構造にどう風穴を開け、関与するか

前半：中島先生からの応答と問いかけ

（適宜途中休憩）

後半：危機の時代の哲学の先へ開かれるもの